

自由律俳句

おおくさ編集室選

一人の炬燵口が淋しくみかん割ぐ

印賀 久代 幹子

一人暮らし会話のない一日が終る春の夕

神戸上 柴田 篤子

牡丹のつぼみ日に陽に解けて今朝の大輪

茶屋 小林 道子

居心地よいと根を張った畑の踊り子草

茶屋 木山 操子

君子蘭薫る 令和の朝を寿ぐ

生山 渡辺 圭子

春の芽を天ぶらにして命の薬

茶屋 木山 輝子

冬眠していたこの身体不安な春がやって来る

茶屋 長谷川由美子

平成が令和となる若葉芽吹く五月まぢか

茶屋 岸本 治枝

菩提寺の裏庭に翁の面影ひっそりと咲く

茶屋 藤原 寿郎

木蓮紅梅咲き春の夕暮れ暖かい

生山 弓場 里恵

俳句

駄句駄句会編集室

元号の変わりて春の雪景色

神戸上 笹間 玲子

峠越えて山野の木の芽濃し

宮内 田辺登志美

木の芽風何時もの道に友いない

宮内 船越 裕子

木々芽吹き動く気配の四方の山

豊栄 花倉美佐子

灯を消して春満月に刻忘る

宮内 木村萬佐子

短歌

新品のクラブを持って腕自慢

下石見 浅川 三郎

ゴルフポストに直接入りぬ

白というは激しき色よ石霞深

宝谷 横谷 秀子

こぶしの花は岩山を包めり

旧姓の倍の月日を重ね来て

霞 岸 尚子

今日も暮れ行く夫の傍ら

編集後記

時代が平成から令和に変わったこのタイミングで、平成30年間を写真で振り返る特集を組んでみました。過去の広報にちなんなどを紐解き、日南町出身ではない私としては、日南町の歴史を知るいい機会となりました。写真を見つつ、「あの頃はこうだった。」「この頃にはこんなこともあった。」と思い出話をするきっかけになっていただけたら幸いです。私にもいろいろと教えていただけると嬉しいのです。

今年が町制60周年記念の年でもあります。広報にちなんで60年を振り返る特集を計画していますが、ただ振り返るのではなく町内外の皆さんの思い出と一緒に振り返りたいと思っています。日南町にまつわるエピソードや、写真などをご提供いただき掲載したいと思っています。具体的な内容が決まりましたら、紙面でお知らせしますのでご協力をお願いします。

「田植えにも やってくるのか スマート化」

問 役場企画課 82-1115

「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意志を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えていきます。

日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。サークル年会費 1500円

6・7月の日程

6月2日(日) 7月7日(日) 14時〜15時30分
場所 文化センター第3研究室

6月16日(日) 14時〜15時30分

場所 道の駅日野川の郷多目的ホール

【お問い合わせ先】

石田由香里 (080030529933)
浅野 博美 (090097341887)

「昭和」



右手の親指と人差し指を曲げて、首にあて少し前に動かす。
※昭和初期に流行した立ち衿の上着の衿部分を表す。

「大正」



右手の親指と人差し指を鼻の下に沿って、つまむように右へはね上げ、口ひげを画く。
※大正天皇の口ひげを表す。

「明治」



右手をあごの下にあて握りながら少し下ろす。
※明治天皇の長く立派なひげを表す。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

